

さきにて見事成、背黒ク尾と羽黒し、群青色あり、足の付根の毛群青色なり、  
小紫おむらさのんここ 餌がい 右同斷

大さ小青海に同じ、總身紫に赤き毛交り見事なる鳥也、氣がるくてよし、

五色いん古 餌がい 右同斷

大さ緋のんこに少し小ぶり歟、毛いろ尤五色交り見事也、音呼類の内、此五色いんこにこしたる見事成物なし、すくなし、

白音呼 餌がい 青味入、ハヤ三分五、砂糖少入、

大ささ不同あり、白いんこは今は一向拂底也、いんこの内、此類は至而少し、

秦吉了

〔多織編四〕秦吉了アキキリョウ乃伊比土利。

〔和爾雅六〕秦吉了アキキリョウ李白詩云、安得秦吉了、為人導寸心、注秦吉了出、  
鶴歌ツルカ廣西通志云、秦

〔本朝食鑑六〕三光鳥、

附録中九官クワン即秦吉了也、華商九官者、畜籠來而鬻之、故長崎土人以九官クワン為名乎、或稱鸚哥、狀大如人言者、勝于鸚、鸚、傳稱有白者、予平野必大未見之也、

〔大和本草十五〕秦吉了アキキリョウ唐會要曰、能言勝于鸚、鸚、黑色兩眉獨黃、一云、色白頂微黃、頂毛有縫、又本草鸚、鸚、附録詳ニ見エタリ、范石湖ガ桂海志曰、鸚、鸚、如兒女、吉了聲則如丈夫、今案ソグミノ大サホ

ドアリ、昔年外國ヨリ來ル、其毛紺黑色、又白色モアリ、其外本草ニ云處ノ如シ、人語ヲナラヒテヨクイフ、恰人語ノ如シ、ハジメハ異國ノ言語ヲイフ、日本ニ來テ後日本ノ言ヲナラヒテヨクイフ、

白樂天有秦吉了詞、

〔重修本草綱目啓蒙十三〕鸚、鸚、中

秦吉了ハサルガ、長崎今ハ九官鳥ト云フ、清商九官ナル者始テ將來スル故名クト云、又鳩喚トモ